

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和四年十一月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園ヒストリー】③〇

《宮本秋四郎》その1

琴弾公園の大鳥居がある入り口から道路沿いに進むと「問答石」という巨岩があり、その手前に**宮本秋四郎の銅像**が建っています。宮本秋四郎は明治3年(1870)詫間町の名門片岡家に生まれ、後に観音寺町の宮本家の婿養子となりました。当時、宮本家は丸亀藩に酢を納めていた醸造元でしたが、秋四郎により醤油の醸造販売も始めその生産量



【琴弾公園クイズ】④3

琴弾公園の見所である庭園には細長い池があり、赤い橋が架かっています。赤い橋は何基架かっているでしょうか？

- ① 一基
- ② 二基
- ③ 三基



◆公園清掃日について◆

今月の清掃日は**11月7日**です。

午前八時〜九時（雨天：11月14日）

琴弾公園の池付近に集合
みんなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ080-3211-11962



その生産は年に一千万枚に達する程盛んになりました。秋四郎は実業界でも活躍し19年もの長きに渡り観音寺町長として勤めながら県会副議長ほか数々の要職を兼ね地域発展に尽くしました。『観音寺の今日あるは氏の郷土を愛する心と情熱、その実行力に負うところが多い』と言われると思います。(つづく)

は驚く程拡大し、郡内の50%を占めるようになりました。また農家の副業としてワラで作った袋状の「吠(かます)」（包装や輸送に用いた）製造を奨励して集荷販売事業を行い、

『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。

寛談永

私がついていた中学校ではひと月に一度「礼法」という授業がありお着物を凜と着こなしたおばあちゃん先生がいらっしやって「礼儀作法」を学ぶ時間でした。最初の授業ではお辞儀の仕方「会釈・敬礼・最敬礼」を一人ずつきちんとできるまで。次の授業では、先生が教室の真ん中に腰かけて、その前を一人ずつ腰をかがめて手刀を切りながら「前を失礼します」と言って通る練習。お箸が転んでもおかしいお年頃でもあり大いに恥ずかしくもあり、皆でコロナ笑いながら過ごした時間でした。が作法の基本の「人を大切にすることを教えてくれていたのだ」と大人になってからわかりました。瀬戸芸に行き、会場でもおとなしの心に触れ、あの時の皆の笑顔をもっと出しました。(M)



◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと頑張っています。

